

と も え

2011
11
No.345



CONTENTS

巻頭特集

韓国観光客誘致訪問団

- ◆会員企業ご紹介 P10
- ◆ご案内 P14



しんくみのフリーローン

チ

ヨ

イ

ス

Choice

使いみち
自由

手続き
カンタン

原則、
本人確認資料
のみでOK!

返済期間
最長7年

Web・Fax
仮審査
24時間受付中!

原則、翌日までに仮審査結果を
ご連絡いたします。

<http://www.hakodate.shinkumi.jp/>

融資利率は4段階の固定金利

● 年利 5%・7%・10%・14%

保証会社が低い金利から順に審査を行い、お客様の審査結果に応じた
ご融資利率とご融資金額を決定いたします。

最高300万円迄ご融資 ●お申し込みの際には審査をさせていただきます。
●審査によってはご希望にそえない場合がございますので、ご了承ください。

ご利用いただける方

- 以下の条件すべてを満たす方
- ①満20歳以上65歳以下で、完済時70歳以下であること
- ②安定・継続した収入の見込める方
- ③本ローン申込金額と当組合でのフリー系無担保ローン(カードローンを除く)残高の借入合計額が300万円以下であること

ご融資金額

- 10万円以上300万円以下
- 但し、主婦・パート・アルバイトの方は30万円以下

ご融資期間

- 7年以内

お使いみち

- ご自由 但し、事業性資金は除きます

ご融資利率

- 4段階金利とします 年5%、年7%、年10%、年14%

保証料率

- ご融資利率に含まれます

保証会社

- 全国しんくみ保証㈱

遅延損害金

- 年14%

ご融資方法

- 証書貸付

ご返済方法

- 毎月元利均等分割返済
(ボーナス併用返済不可)
- ご本人名義の預金口座からの自動引落しとします

連帯保証人

- 原則不要
- 但し、保証会社が必要と認めた場合は、この限りではありません。

提出していただく書類

- ①本人確認書類
運転免許証写し・写真付き住民基本台帳カード写し・健康保険証写し・パスポート写し・印鑑証明書のうち一点
- ②所得証明書
原則不要
- 但し、保証会社が必要と認めた場合は、この限りではありません。
- ※①②は連帯保証人についても必要となります



函館商工信用組合 <http://www.hakodate.shinkumi.jp/>
本店/TEL(0138)23-2101(代) FAX(0138)23-0798

平成23年11月10日発行(毎月10日発行)

函館商工会議所報

ともえ

11月号
(通巻345号)

■今月の表紙

「函館郵便局」

写真は、函館郵便局を撮影した大正時代と推察される一葉です。

函館郵便局は明治44年に建てられ、昭和37年に局舎移転に伴い郵便局としての役割を終え、事務所や倉庫として使われたのちに、現在はベイエリアの人気観光スポットはこだて明治館として利用されています。赤レンガをツタが覆う重厚な建物は、今年で築100年を迎えます。

(函館市中央図書館所蔵)



CONTENTS

2 特集 韓国観光客誘致訪問団

4 会議所の動き

- 新幹線開業対策青森視察会
- 道南商工会議所連絡協議会
- 市民フォーラム「珈琲の薫る街はこだて」
- 議員会
 - ・経済視察旅行
 - ・議員懇話会
 - ・親睦ゴルフコンペ・懇親会
- 女性会
- 青年部
 - ・はこだてカルチャーナイト2011
 - ・青函合同例会
- 今後のうごき

8 中小企業相談所だより

- マル経融資
- 経営セミナー
- 経営セーフティ共済
- 個別専門相談日程

10 会員企業ご案内

- (株)大歩 DIVE-HaDSタイプーハコタテダイビングサービス

11 新入会員ご紹介

12 新幹線情報

13 イベント情報

- スーパージョブ紹介

14 ご案内

- 新サービス！函館商工会議所「メディア便」
- 定期健康診断割引制度
- 会員増強キャンペーン
- 初心者でも「獲れる」実践的営業法
- 労働基準法の実務講座
- 当面する国際情勢と日本外交
- 北海道立函館美術館

16 連載コラム

- 失敗から学ぶ企業再生
- 職員コラム

広告掲載企業

函館商工信用組合

(株)中合棒二森屋店

北包連(株)

(業)英知国際特許事務所

佐藤木材工業(株)

(株)OCL

中小企業基盤整備機構

久二野村水産(株)

龍文堂印刷(株)

(有)岡部広告室

エクスマセミナーご案内

北海道地域ジョブ・カードサポートセンター

表紙裏

裏表紙裏

裏表紙

段下

段下

段下

段下

段下

段下

折込

折込

折込

韓国観光客誘致訪問団

～大韓航空に対し国際定期便早期再開を要請～

本号では、工藤市長や松本会頭をはじめ関係団体の総勢22名が参加し、去る10月8日から11日の日程で行った韓国観光客誘致訪問の様子を掲載いたします。

今回の韓国訪問では、東日本大震災以降、利用客の激減や原発問題によって運航休止となり、運航再開が12月27日となっていた国際定期便ソウル線の更なる早期運航再開を大韓航空に要請するとともに、8月に姉妹都市提携を結んだ高陽市において初の企画として開催されている高陽市国際特産品フェスティバルを視察、また、ソウル市内の大手旅行代理店等6社を訪問し観光客誘致の要請をしました。この結果、ソウル線については1週間の前倒しとなる12月20日の運航再開が決定しました。

また、姉妹都市の高陽市とは、市内施設の見学や懇談会などで認識や交流を深め、高陽市役所を訪問した際は、今後の両市の更なる交流促進について協議し、各種イベントへの参加など積極的な交流を進めていくこととなりました。

なお、このソウル線運航再開にあわせて同路線の利用客拡大を図るため、12月20日から27日までの4便に限定して、利用客の旅行代金を当地域として助成するキャンペーンを行うことが決定し、また、本所会員の皆様にはさらに割引をさせていただく予定としています。

1日目

出発式

10月8日(土)

初日は函館空港内で出発式を行い、訪問団を代表して挨拶を行った松本会頭は「国際定期便の一刻も早い運航再開を要請し、当市経済に大きなウエイトを占める観光産業のバックアップを図るとともに、高陽市との連携も強めていきたい。」と述べました。

訪問団が韓国の仁川国際空港に到着した際は、高陽市副市長や議長より「訪問団の皆様を歓迎します！」との横断幕や花束が手渡され、手厚い歓迎を受けました。



▲出発式で挨拶を述べる松本会頭

2日目

物産展視察、高陽市施設見学

10月9日(日)

2日目は、姉妹都市の高陽市で初開催となる高陽市国際特産品フェスティバルを高陽市の崔星市長の案内のもと視察いたしました。この物産展は韓国から214社、海外からも47社が出展と規模が非常に大きく、注目度も高いものとなっており、ブースには各社自慢の伝統工芸品や



▲多くの人を集め、賑わいを見せる函館ブース

食品がずらりと並んでいます。また、この物産展では、函館からも菓子製造で3社、水産物卸で1社の計4社が出展しており、スイーツや乾燥珍味など函館の味をPRし、多くの来場者を集めました。

この後は、高陽市内の施設見学を行い、韓国最大のコンベンション施設で2011年9月に第2展示場がオープンし、展示面積が10万㎡とアジア5位の規模である国際展示場KINTEXを視察し、崔星市長からは「積極的な国内外のマーケティング活動を通じ世界レベルのコンベンションを誘致・開発している」との説明を受けました。また、東洋一の人工湖といわれ市民の憩いの場となっている一山湖水公園、4万人の収容人員を誇る高陽総合運動競技場などを見学し、発展を続ける高陽市から多くの先進事例を学びました。



高陽市の先進施設を見学
▲KINTEX ▼高陽総合運動競技場



3日目 高陽市役所、大韓航空訪問

10月10日(月)

最終日となる3日目は、高陽市役所を訪問し崔星市長ら高陽市の幹部と会談、この中で今後は両市の発展のためイベント参加や教育面、職員派遣など積極的に相互交流を行い、両地域の活性化を図ろうと話し合いました。また、大手旅行代理店を訪問した班は、各代理店に対して函館観光の魅力をPRし、観光客誘致を図りました。

午後には韓国訪問の一番の目的である大韓航空本社を訪れ、同社幹部に対し国際定期便の早期再開の要請を行い、この要請により1週間の前倒しとなる、12月20日からの運航再開が決まりました。



▲高陽市役所で相互交流について協議



▲大韓航空に対し国際定期便の早期再開を要請

主な訪問先

- ・大韓航空本社
- ・高陽市役所
- ・高陽市国際特産品フェスティバル
- ・北海道北東北3県ソウル事務所
- ・JNTO事務所
- ・韓進観光
- ・ロッテ観光
- ・MODE TOUR
- ・南星海運

会議所の うごき

新幹線開業対策青森視察会

永井副会頭を団長とする部会・委員会合同「新幹線開業対策青森視察会」を、去る10月24～25日の日程で開催しました。

当視察会は、昨年11月に部会・委員会体制が刷新されたことに伴い、関係する複数の部会・委員会から「4年後の新幹線新函館開業に向け対策をより一層推進するためにも青森地域の取り組み視察が必要」との提案があったことから企画されたもので、今回は17名の議員・部会幹事の参加に加え、圏域商工会にもご案内し函館市亀田・函館東・北斗市の3つの商工会長にもご参加頂きました。

一行は弘前市・青森市・八戸市を訪問し、各地商工会議所のご協力を得て観光と商業それぞれのまちづくり事例についてグループに分かれて視察と懇談を行ったほか、青森商工会議所との懇談会

では新青森開業に向けた取り組み状況について説明を受け、活発な質疑応答がなされました。

本所ではこれら視察成果を踏まえた取り組みを引き続き進めてまいりたいと考えておりますので、今後とも皆様のご協力を賜りますようお願い申し上げます。



▲新幹線開業の取り組みについて、活発な質疑応答が行われた懇談会

道南商工会議所連絡協議会

道南商工会議所連絡協議会が去る10月26日、道南ブロックの7商工会議所から12名が出席のもと、登別市において開催されました。

当協議会は、道南地域の各地商工会議所が相互の交流や認識を深め、地域の発展に寄与することを目的に毎年開催されており、当日は、第47回北海道東北商工会議所連絡会議登別大会について、また、第63回全道商工会議所大会の道南ブロック



▲冒頭挨拶する酒井専務

市民フォーラム 「珈琲の薫る街はこだて」

市民フォーラム「珈琲の薫る街はこだて」が去る10月29日、カフェ・ペルラにおいて開催されました。

当フォーラムは、函館と珈琲の歴史的背景とその魅力を伝え、郷土の文化に親しんでいただくことを目的に、今年2月に発足した珈琲の薫る街はこだて委員会の主催により開催し、当日は約90名が参加しました。

参加者は、美鈴商事(株)代表取締役社長の鈴木修平氏による特別講演「函館で生まれ育って80年奥深い珈琲の魅力」や事業者などによるパネルディスカッションに耳を傾け、また、コーヒーの飲み比べやコーヒー豆すり潰し体験など、珈琲の魅力に触れました。



▲珈琲を飲み比べる参加者

議 員 会

■経済視察旅行

議員会の経済視察旅行を去る10月8日～11日の日程で、加藤会長をはじめ17名が参加のもと開催しました。

当視察旅行は、函館－ソウル間の国際定期便の早期再開要望と姉妹都市提携を結んだ高陽市との連携強化を目的とした韓国観光客誘致プロモーションに併せて実施し、工藤市長、松本会頭らの

公式訪問団とともに、高陽市の崔星市長の案内で、函館の企業も出店している高陽国際特産品フェスティバルやアジアで5位の規模を誇るコンベンションセンター KINTEX等を視察しました。



▲KINTEXの視察へ向かう委員会メンバー

■議員懇話会

議員懇話会を去る10月27日、昨年夏にリニューアルオープンした函館競馬場の見学会を兼ねて、松本会頭、加藤会長をはじめ19名が参加のもと開催しました。

当日は、実際にコースを歩いたり、ファンを魅了する様々な場内の施設を見学しました。また、湯の川プリンスホテルに場所を移し、函館競馬場の渡邊場長を講師として招き「競馬開催時のJRA職員の仕事－公正で楽しい競馬を提供するために－」と題した講話を受けました。



▲講話を行う渡邊場長

会議所のうごき

親睦ゴルフコンペ・懇親会

毎年恒例の議員会主催による親睦ゴルフコンペを去る11月2日、アンビックス函館ゴルフ倶楽部上磯ゴルフコースにおいて開催しました。

秋晴れのおだやかな天候に恵まれた当日は、16名の議員が参加し、小高い丘と林間に広がる戦略的なチャンピオンコースに挑みました。

その後、ロワジールホテル函館で開催した懇親会には、正副会頭や議員会長から贈られた豪華な特別賞や、地元特産品を賞品とした表彰式等を行い終始和やかに親睦を深めました。



▲クラブハウス前にて集合写真

女性会

第43回全国商工会議所女性会連合会浜松全国大会が去る10月6日～7日、来賓として岡村日本商工会議所会頭や川勝静岡県知事がご臨席したほか、本所からは斎藤会長をはじめ5名が参加のもと開催されました。

当大会では、「自ら磨き自ら輝く、浜松は女性の元気をシゲキする」をスローガンに、全国405女性会、総勢2,765名が集まり、全国の女性会ネットワークの強さを再確認するとともに、凛と信を持って連帯し、平和で心豊かな社会を築こうと被災地へのエールを送りました。また記念講演ではスズキ(株)の鈴木代表取締役会長から経営雑感の講

演をいただき、盛会裡に終了しました。



▲日本商工会議所岡村会頭を囲んで

青年部

■カルチャーナイト

はこだてカルチャーナイト2011を去る10月14日、はこだてカルチャーナイト実行委員会（実行委員長：高野青年部会長）の主催で開催しました。

当イベントは、普段なかなか見られない文化・教育施設や民間施設などを夜間開放し、家族揃って地域の文化に触れていただくことを目的として、平成17年にスタートし、今回で7回目を迎えました。

今年は、函館駅周辺エリア・西部エリア・五稜郭エリアに加え、新しく湯の川エリアを設け26会場に過去最高となる32団体・企業が出展し、当日は昨年を上回る延べ6,904人が各施設の催しを見学・体験され、大いに賑わいました。



▲海上保安庁の巡視船を見学する来場者

■青函合同例会

函館・青森の両商工会議所青年部（以下YEG）による青函合同例会を去る10月17日、ロワジュールホテル函館において開催しました。

当合同例会は、両YEGが定期的な交流を図り、青函の歴史や経済、文化などについて共通の認識と理解を深めることを目的に、3年振りに開催しました。

当日は、青森YEGから21名、函館YEGから39名が参加したほか、弘前YEGからも3名が参加して行われ、青森YEG野坂副会長より「新幹線開業後の青森の現状・効果」のテーマでご説明いただいた後に、レストランバスクオーナーシェフの深谷宏治氏に「函館バル街とバルまち会議について」のテーマでご講演いただきました。

講演終了後には、両YEGによる懇親会を開催し、会員間の交流を深めました。



▲深谷氏の講演に耳を傾ける青函YEGのメンバー

ウォームビズ実施中です!

本所では11月1日からウォームビズを実施しております。

期間中は、館内の暖房時室温を22℃に設定しておりますので、皆様のご理解、ご協力をお願いいたします。

実施期間 11月1日～4月28日

12月号休刊のお知らせ

所報ともえは毎年12月号を休刊させていただきます。

次号は合併号として1月10日発行の1月号となりますのでご了承ください。

今後のうごき

11月	
13	(日) 第6回函館歴史文化観光検定（はこだて検定）
16	(水) 金融個別相談
17	(木) 農水産部会幹事会
18	(金) 森本敏拓殖大学大学院教授 特別講演会
20	(日) 第129回簿記検定
21	(月) ・青森との合同による青函圏委員会 ・労働基準法の実務講座
22	(火) ・青年部正副会長会議・役員会 ・北海道新幹線新函館開業対策推進機構理事会
23	(水) 北海道観光マスター検定
24	(木) ・年末調整説明会（サンリフレ函館） ・経営セミナー「大人気！ほめ達！セミナー」 ・青年部フルマラソン検討委員会
25	(金) 法律相談
27	(日) 第27回福祉住環境コーディネーター検定
29	(火) 第53回優良商工従業員表彰式
12月	
1	(木) ・2011はこだてクリスマスファンタジー（～25日） ・はこだてイルミネーション（～2/28）
2	(金) マーケティングセミナー「モノを売るな! “体験”を売れ!」
4	(日) ・第31回カラーコーディネーター検定 ・第20回日本珠算連盟優良生徒表彰式 ・2011年全国そろばんコンクール
8	(木) 青年部12月例会
9	(金) ・第3回常議員会 ・営業力推進セミナー「小心者でも“獲れる”実践的営業法」
11	(日) 第30回ビジネス実務法務検定
13	(火) 保証協会個別相談
14	(水) 経営相談
16	(金) 第3回臨時議員総会
20	(火) 青年部正副会長会議・役員会
21	(水) ・金融個別相談 ・発明相談
22	(木) 法律相談
28	(水) 仕事納め
1月	
4	(水) 仕事始め
10	(火) 保証協会個別相談
11	(水) 経営相談

【10月31日現在】